



平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年5月8日

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所東
 コード番号 3674 URL http://aucfan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 武永 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 濱田 淳二 TEL 03(6809)0951
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の業績（平成25年10月1日～平成26年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	471	132.9	203	132.2	214	144.3	131	131.3
25年9月期第2四半期	354	—	154	—	148	—	99	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	13.73	13.03
25年9月期第2四半期	14.22	—

(注) 1. 当社は第2四半期の業績開示を平成25年9月期より行っているため、平成25年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社は平成25年1月15日付で普通株式1株につき500株にする株式分割を行っております。また、平成25年10月1日付で1株につき5株の株式分割を行っております。なお、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

3. 平成25年9月期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権残高はありましたが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第2四半期	1,896	1,758	92.7	181.28
25年9月期	1,615	1,461	90.4	159.23

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 1,757百万円 25年9月期 1,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年9月期の業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,003	33.5	401	30.9	400	32.5	242	14.4	25.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年9月期2Q	9,697,500株	25年9月期	9,167,500株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	一株	25年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年9月期2Q	9,552,418株	25年9月期2Q	7,029,547株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通しに関する記述は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済状況は、政府の経済政策や金融緩和等を背景に円安及び株高の傾向が現れ、緩やかながらも景気回復への動きが見られました。その一方で、中国やその他新興国経済の減速懸念等から先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の需要が好調に推移していることに後押しされ、インターネット利用人口及び接触時間は継続的に増加しております。平成25年12月末時点の固定系ブロードバンドサービスの契約数は3,579万回線（前期比+0.5%増）、移動系通信の契約数は1億5,325万（前期比+1.5%）と増加が続いております。中でも、移動系通信におけるMVNOサービス全体の契約数は1,375万（前期比+9.3%、前年同期比+36.1%）となっております。（出所：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（平成25年度第3四半期（12月末）」）。

このような事業環境のもと、当社は主力のインターネットメディア事業の拡大に向け、その中核を成す「オークファン」において、ユーザー数の拡大、収益基盤の確立・強化に取り組んでまいりました。

ユーザー数の拡大に向けては、サイトリニューアルやSEO対策、プロモーション施策などユーザー数増加施策に注力しました。

一方、収益基盤の確立・強化に向けては、サービス課金収入の売上増加による収益基盤の多様化及び安定性向上に努めてまいりました。平成23年11月から開始した「オークファンプロ」では、順調に会員数が増加しており、収益基盤の多様化に貢献しております。また、スマートフォンへの対応を進めると共に、世界のEマーケットプレイスの一括検索「グローバルオークファン」を開始しております。

当第2四半期累計期間における売上高は471,442千円（前年同四半期比132.9%）、売上総利益は405,468千円（同131.6%）、売上総利益率86.0%（同0.9ポイント減）となりました。

また、販売費及び一般管理費は201,581千円（同130.9%）、対売上高比率は42.8%（同0.7ポイント減）となりました。

以上の結果、営業利益は203,887千円（同132.2%）、経常利益は214,114千円（同144.3%）、四半期純利益は131,191千円（同131.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて、124,595千円増加し、1,414,685千円となりました。これは主として、現金及び預金が126,433千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて、156,502千円増加し、481,842千円となりました。これは主として、のれんが86,273千円、ソフトウェアが25,213千円及び投資その他の資産が22,635千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて、281,098千円増加し、1,896,528千円となりました。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べて、15,465千円減少し、138,050千円となりました。これは主として未払法人税等が21,361千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて、296,564千円増加し、1,758,478千円となりました。これは主として、新株予約権行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ83,495千円及び83,495千円増加したこと、また四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の額が131,191千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は前事業年度末より126,433千円増加し、1,253,083千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期純利益214,228千円、減価償却費37,453千円、法人税等の支払額97,905千円などにより、営業活動の結果獲得した資金は127,102千円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の取得による支出24,400千円、無形固定資産の取得による支出174,893千円などにより、投資活動の結果使用した資金は166,350千円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

株式の発行による収入165,360千円により、財務活動の結果獲得した資金は165,360千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の業績予想につきましては、平成25年11月14日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,126,650	1,253,083
売掛金	111,621	138,505
貯蔵品	1,180	927
その他	51,734	22,798
貸倒引当金	△1,097	△630
流動資産合計	1,290,090	1,414,685
固定資産		
有形固定資産	44,933	42,065
無形固定資産		
ソフトウェア	191,559	216,773
のれん	311	86,585
その他	11,917	37,165
無形固定資産合計	203,788	340,523
投資その他の資産	76,617	99,253
固定資産合計	325,340	481,842
資産合計	1,615,430	1,896,528
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,230	17,921
未払金	26,296	28,290
未払法人税等	96,622	75,260
賞与引当金	6,000	—
その他	18,366	16,577
流動負債合計	153,515	138,050
負債合計	153,515	138,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	565,974	649,470
資本剰余金	569,737	653,233
利益剰余金	324,027	455,218
株主資本合計	1,459,738	1,757,921
新株予約権	2,175	556
純資産合計	1,461,914	1,758,478
負債純資産合計	1,615,430	1,896,528

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	354,614	471,442
売上原価	46,414	65,974
売上総利益	308,199	405,468
販売費及び一般管理費	153,939	201,581
営業利益	154,260	203,887
営業外収益		
為替差益	491	336
受取利息	38	118
設備賃貸料	—	1,500
投資有価証券売却益	—	9,000
その他	110	163
営業外収益合計	640	11,118
営業外費用		
株式公開費用	6,479	—
支払利息	—	80
株式交付費	—	810
営業外費用合計	6,479	891
経常利益	148,421	214,114
特別利益		
投資有価証券売却益	26,400	—
新株予約権戻入益	71	113
特別利益合計	26,471	113
特別損失		
本社移転費用	608	—
特別損失合計	608	—
税引前四半期純利益	174,285	214,228
法人税、住民税及び事業税	76,390	77,546
法人税等調整額	△2,056	5,489
法人税等合計	74,333	83,036
四半期純利益	99,951	131,191

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	174,285	214,228
減価償却費	24,834	37,453
のれん償却額	109	9,708
貸倒引当金の増減額(△は減少)	511	△467
受取利息及び受取配当金	△38	△118
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△6,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,000	—
支払利息	—	80
投資有価証券売却損益	△26,400	△9,000
新株予約権戻入益	△71	△113
売上債権の増減額(△は増加)	△9,728	△26,884
仕入債務の増減額(△は減少)	681	11,691
未払金の増減額(△は減少)	△43,128	1,655
その他	3,931	△7,263
小計	111,987	224,970
利息及び配当金の受取額	38	118
利息の支払額	—	△80
法人税等の支払額	△70,516	△97,905
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,508	127,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,467	△5,796
無形固定資産の取得による支出	△53,798	△174,893
投資有価証券の取得による支出	—	△24,400
投資有価証券の売却による収入	—	41,140
その他	11,410	△2,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,855	△166,350
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	76,250	165,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	76,250	165,360
現金及び現金同等物に係る換算差額	453	321
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	68,356	126,433
現金及び現金同等物の期首残高	338,683	1,126,650
現金及び現金同等物の四半期末残高	407,040	1,253,083

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株の発行

当社は、当第2四半期累計期間において、新株予約権が権利行使されたことに伴い、新株を発行したことで、資本金が83,495千円、資本剰余金が83,495千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が649,470千円、資本剰余金が653,233千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、インターネットメディア事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。